



校長室だより（令和7年8月）

夏休みの終わりに

今年の夏休みも、いよいよ終わりを迎えています。2学期の始業式は8月29日（金）。ほかの学校より遅いかもかもしれませんね。今年は厳しい暑さが続くことで、小学校では始業式を遅らせたり、半日で下校させたりする動きがあると、朝のニュースで言っていました。

夏休み明けは、心や体の調子を崩すこともあります。自分の心や体からの声に耳を澄ましなが、始まる学校生活にゆっくりシフトしていきましょう。



*3階から見下ろした、夏の前庭広場（この下に古代遺跡が眠っています）

夏休みといえば、知り合いやお世話になっているお店の人から、今でも時々「先生って夏休み中でも学校に行っているの？」と聞かれることがあります。長期休業中の教員の勤務について、随分昔には緩やかな時代もありましたが、私たちの夏季休暇は5日間。6月から10月までの期間で取ることができます。

たとえ夏休みに入っても、先生方は研修や三者面談、部活動や合宿、3年生の進路指導、そして中学の生徒さんや先生方への学校説明会など、この時期ならではの仕事に向き合っています。そんな中、多くの先生方は、お盆の時期に設定した「学校閉庁日」の期間に夏季休暇を取ったり、有給をとっていつもより少し早く帰ったりしています。日頃忙しくしている先生方に、「休むのも仕事のうちですよ、取れる時にぜひ休みを取ってくださいね」といつも伝えています。出張や休みは事前に共有の掲示板に記入してもらうのですが、休みの欄に先生方の名前が並んでいるのを見ては、ちょっと嬉しくなっている私です。

ある日の朝の打合せ後、職員室の先生方の会話に、思わず笑ってしまいました。

「（ああ）夏休みがもう1週間しかない・・・」

「そういう発言は好きじゃないなあ、やめてほしいなあ」

「そうだ夏休みがまだ1週間ある！」

「そのとおり！」

私も、「まだ1週間あるに1票！」でした。



部活動や進路で登校してくる生徒もあって、職員室や体育館、グラウンドが賑やかな時間もあるのですが、それでも夏休みの校舎はいつもとは違って、セミの声や鳥のさえずりが一層大きく響くように感じられます。

皆さんの声が戻ってくるのを、先生方と一緒に学校で待っていますよ。

*夏休みのある日の図書館と某教室風景。

(よく見ると、教卓の上にドキンコとモックンが)



また、お知らせしますね。

